



初期のもみじ祭り

毎年多くの観光客を迎えて賑わったのは昭和五十七年であった。取組んだのは阿東の商工会青年部である。動機は、観光客に喜んでもらい地元産の物産をPRできたいという思いからであった。

長門峡観光協会や篠生の婦人会、青年団とも協議して「長門峡もみじ祭実行委員会」を発足させた。第一回は同年十月二十四日に開催され、会場は洗心橋を渡った右側の広場が使われた。行事のバザー、

シリーズ 長門峡の歴史 ④ 河村明英

大差がなかった。鮎掛の特産品販売などは現在とつれて催しも少なくなった。なり、この後には若年部の人数が少なくなり、活動として地域にまで広がっている。改組された現在に至るまで、一方、長門峡の渓谷が遊歩道に推して降参りなど開発がされず、同五十八年には朝日新聞社等から選ばれる「自然百選」に選ばれている。

日本の自然100選

山口県阿東町殿

すべての人間にとって、緑の自然は永遠の心のふるさとであります。長門峡の豊かな自然は人々の深い愛情に守られており、世紀に残すべき日本の自然として朝日新聞社と森林文化協会が公募した「100選」の一つに選ばれました。この大切な自然が、これから人々の温かい心と努力によって、その姿を永く後世にとどめることを祈念いたします。

一九八三年一月一日

朝日新聞社  
瀬森林文化協会

# 水道管の凍結に注意!

(阿東簡易水道事務所のお知らせ)

- 特に凍結しやすい場所
- ・水道管がむき出しのところ
- ・水道管やメーターが日陰や北側にあるところ
- ・風当たりの強いところ
- ・家の外にある蛇口



保温材(砕いた発泡スチロール・小さくちぎった新聞紙・粉殻等)を濡れないようにビニール袋などに入れてつめます。

水道管や蛇口の部分を電気式の水道凍結防止帯やボロ布・毛布などで濡れないように保温します。

- 12、1月の予定
- 12月16日(日) 阿東中3年親子学級(門松づくり)
  - 18日(火) さくら小ふるさと学習(しめ飾りづくり)
  - 1月12日(土) どんど焼き(さくら小)
  - 13日(日) 山口市成人式(市民会館)
  - 18日(金) 長門峡川柳会(自然休センター)
  - 21日(月) 生涯大学(開発センター)

篠生の子の動き(12月1日現在)

世帯数	443戸(-5)
人口	男性 443人(-6)
	女性 526人(-15)
	合計 969人(-21)
※	( )内は前年同月比

# 篠生分館だより

第23号  
2012/12/15  
阿東地域交流センター  
篠生分館  
TEL 083-955-0011  
FAX 083-955-0620

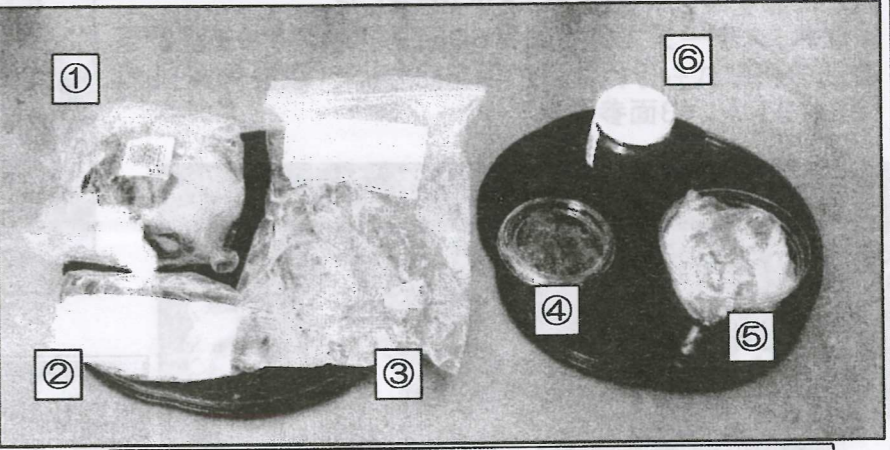


文珠協働会の皆さん

文珠の特産品を考案中!

「今、文珠が元気!」…文珠協働会(代表:伊藤繁樹さん)では、全22戸が参加して自分たちで栽培した野菜などを加工し販売する6次産業化に取り組んでいます。

集落の一体化と活性化を目的に、平成22年3月に空いている田畑を使って始めました。これまでフキのつくだ煮、湯がき竹の子、玉ねぎジャム、キュウリのビール漬けなどを作ってきましたが、新たな特産品の開発に力を入れています。



- (加工品の一例)
- ①白菜漬け ②大根の牛乳漬け ③瓜の粕漬け
  - ④柚味噌 ⑤イモのカリントウ ⑥玉ねぎジャム



みんなで小豆を洗っています。

集落の中央にある特産品直売所「自然のまんま屋」(代表:藤田知英さん)で販売していますが、①②③⑤が特に売れているようで、ほかにも「餅あられ」や「ぜんざい」も好評だそうです。

今年の3月に、市などの補助金を利用した加工場「文珠興房・こぶしの花」が完成し、文珠ならではの商品開発に全員がアイデアを出し合い、地域の絆を深めています。